



平成 30 年 11 月 19 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 毅
(J A S D A Q ・ コード 7746)
問合せ先 財務部長 風間 卓
電 話 04-7137-3111

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2020年3月期から2022年3月期までの3カ年を対象とする中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

当社グループを取り巻く事業環境において、プロジェクターなどの固体光源化(LED、レーザー化)が漸次進むことで主力製品のひとつである反射鏡への影響が見込まれますが、これに対応した事業の変革を進めつつ、新しい事業構造を構築していきます。

プロジェクター搭載製品を主力とする当社は、光源からLCDパネル、マイクロミラーなどのイメージャー(撮像素子)まで光を導く照明系の光学部品を得意としており、固体光源化で増加が見込まれる固体光源用レンズの需要を取り込んでいきます。

また、自動車ヘッドランプの固体光源化による新しいレンズ需要に対応するとともに、各種の運転支援システム、自動運転技術を支えるセンサー関連製品にも展開することで車載用製品を当社事業の第二の柱としていきます。

この固体光源化の動きは、新事業として育成してきた機能性薄膜事業、フリット事業にも及びます。機能性薄膜事業は、高反射率、高耐久性の銀ミラー「Hi-Silver®」と他の照明系の光学部品との複合製品化により高付加価値を目指します。また、今年2月から始まったガラス容器への加飾蒸着は順調に拡大しており、生産能力の拡大を図ります。フリット(ガラス粉末)事業は、LED基板用、PiG(Phosphor in Glass: ガラス封止蛍光基板)など照明事業、光学事業で培った技術、商流などのリソースが生かせる分野を中心としつつ幅広い事業展開を図ります。

こうした方針のもと、売上高の拡大、売上高営業利益率の向上を目指します。

経営目標数値

	2020年3月期目標	2021年3月期目標	2022年3月期目標
連結売上高	6,500百万円	7,500百万円	9,000百万円
連結営業利益	320百万円	480百万円	900百万円
連結売上高営業利益率	4.9%	6.4%	10.0%

詳細につきましては添付資料をご参照ください。

※本資料に記載されている中期経営目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上



”特殊ガラスと薄膜で光を科学する”

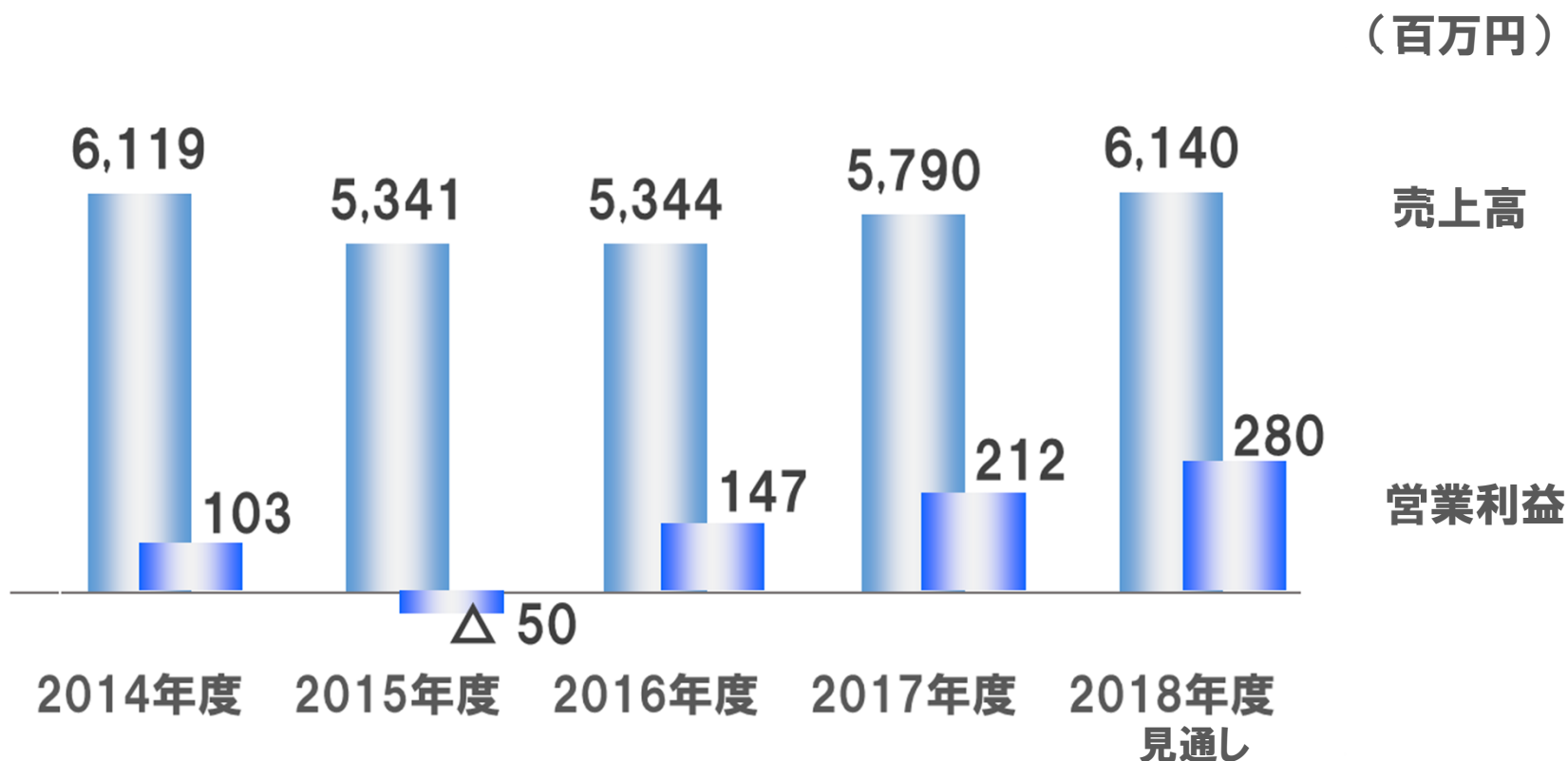
中期経営計画 (2018～21年度)

岡本硝子株式会社

(JASDAQ 7746)

2018年11月19日

業績推移



利益を創出する体制の構築により、さらなる成長を目指す

「光源の進化:固体光源化」を軸に事業成長を推進



中期計画 方針

3つのコアコンピタンス技術を深化させ、
営業利益率10%以上を目指す

3つのコアコンピタンス

精密成型技術

硝材開発技術

薄膜技術

キーワード

固体光源

次世代
自動車

再生可能
エネルギー

5G高速通信

天然資源
(資源調査)

中期計画 取り組み

- ◆ **固体光源^(*) 対応商品の展開** (*) : LED光源、レーザー光源
固体光源プロジェクター、自動車前照灯向けなど
- ◆ **次世代自動車用部品への対応**
自動運転等の車載向けセンサーなど
- ◆ **高付加価値製品の創出**
ガラス材料と機能性薄膜の融合による付加価値の創造
- ◆ **新たな製造方法の確立**
ものづくりを進展させ更なる成長のエンジンを構築

中期計画 取り組み

固体光源

精密成型技術

高耐熱性レンズ

薄膜技術

高反射率

銀ミラー

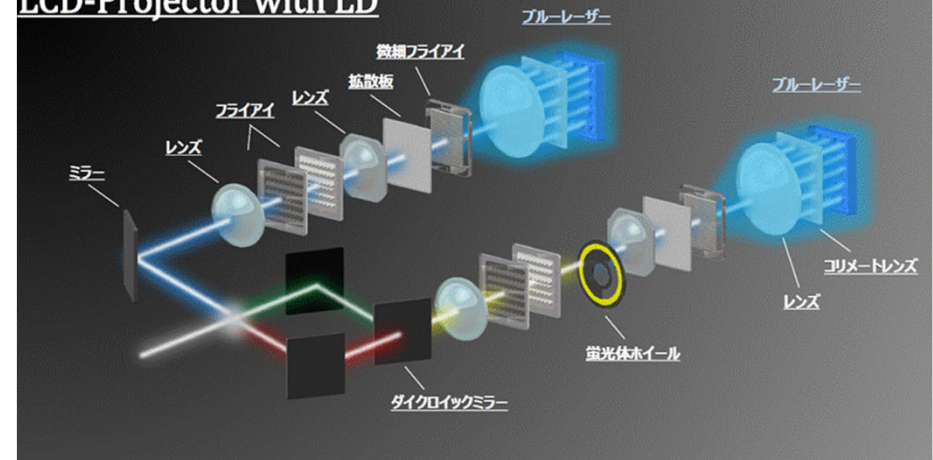
硝材開発技術

ガラス封止蛍光
基板

レーザー光源プロジェクター

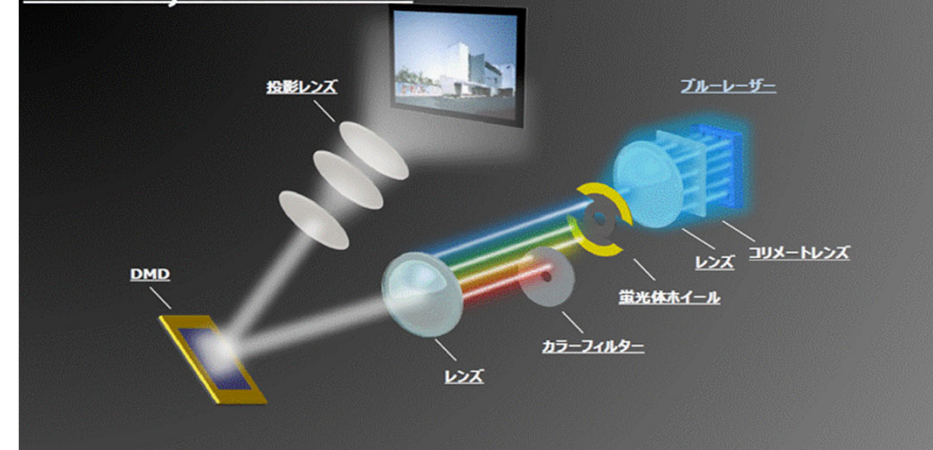
LCD(液晶)プロジェクター光学系イメージ図

LCD-Projector with LD



DLPプロジェクター光学系イメージ図

DLP-Projector with LD



* 光学系イメージ図は当社作成のイメージ図で、実際の光学系デザインを示すものではありません。

中期計画 取り組み

次世代自動車用部品

車載部品市場における新たなニーズ

固体光源搭載のヘッドライト

⇒ 耐熱性、耐候性、耐久性
に優れるガラス等

ライティング

PiG

異形レンズ

Hi-Silver[®]
フライアイ

センシング

カバーガラス Glapola[®]
赤外線フィルタ

イメージング

凹面鏡

AGガラス
ハーフミラー

自動車内装部

⇒ 質感・機能
両面に優れるガラス

その他

車載インテリア

自動運转向けセンサー

⇒ 耐衝撃性・耐候性・高反射率
に優れるガラス、ミラー

各種情報ディスプレイ

⇒ 耐熱性、耐候性に優れるガラス

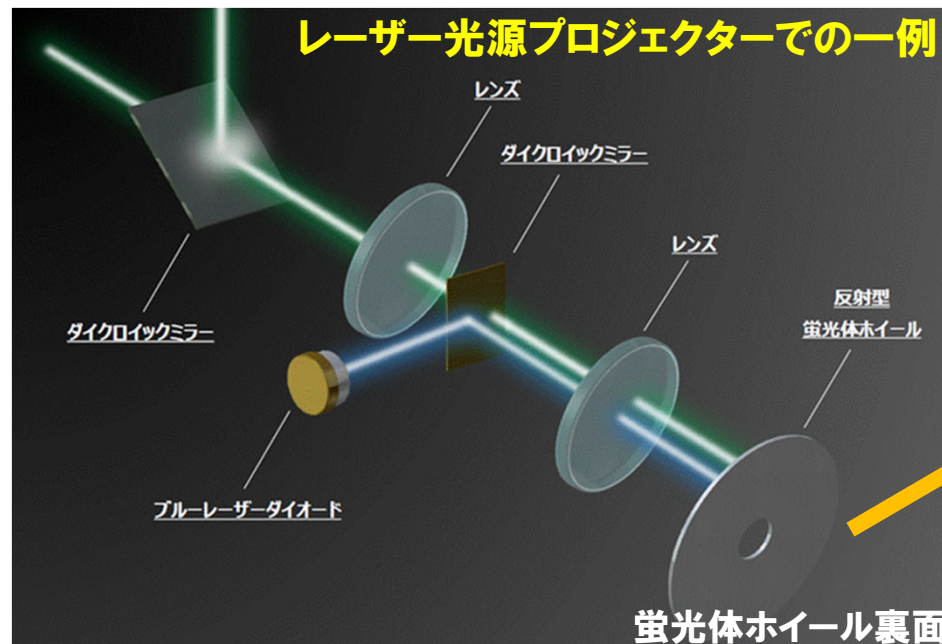
中期計画 取り組み

高付加価値製品の創出

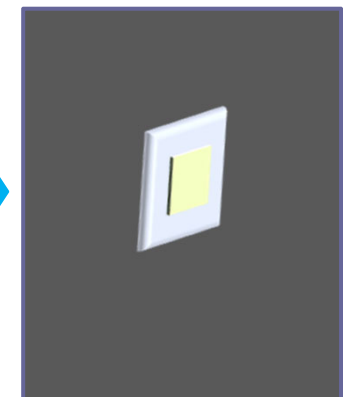
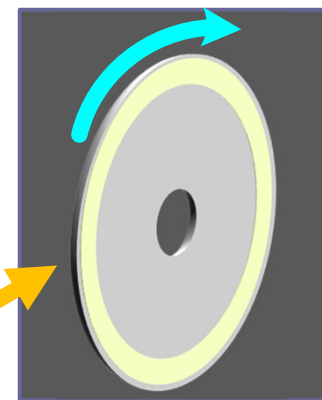
フリット「PiG」と機能性薄膜「Hi-Silver[®]」の複合化商品を展開

PiG (Phosphor in Glass : ガラス封止蛍光基板)

固体光源の光学系部品へ各種ガラス商品を提案し、顧客ニーズに対応



PiG + Hi-Silver[®]
「小型化」「無回転」



*当社作成のイメージ図で、実際の光学系デザインを示すものではありません。

中期計画 取り組み

新たな製造方法の確立

ダイレクトプレス

新たな製造方法

- 固体光源化等技術の進化による要求精度・製品仕様の変化
- 部品点数削減、トータル効率化などから両面レンズなど高付加価値レンズの需要が増加
- 自動運転（ADAS等）関連センサーカバーなど、要求仕様が軽量薄肉化

高精度化・複雑立体形状化

従来のプレスガラス領域から変化

2つのアプローチ

①ダイレクトプレスを応用した
新たな成型プロセスの開発

②技術領域の変化に対応
する高精度プレス装置

中期計画 取り組み

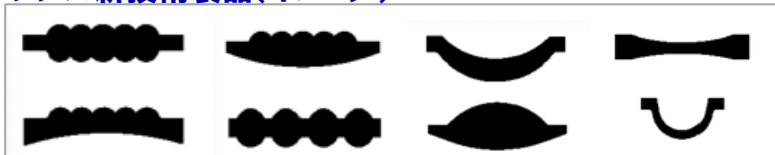
新たな製造方法の確立

① 新たな成型プロセスの開発

ダイレクトプレス of 溶融ガラスを応用した新たな成型プロセス

「精密かつ複雑な立体形状を有するガラス製光学部品」を成形する方法を開発
(特許出願済)

レンズ新技術製品(イメージ)



② 技術領域の変化に対応する高精度プレス装置

モールドプレスに迫る技術向上

- ✓ より狭い温度変化領域での成型
- ✓ 真空雰囲気における金型転写
- ✓ より緻密なプレス加圧制御

ダイレクトプレスの量産性 & モールドプレスの精度

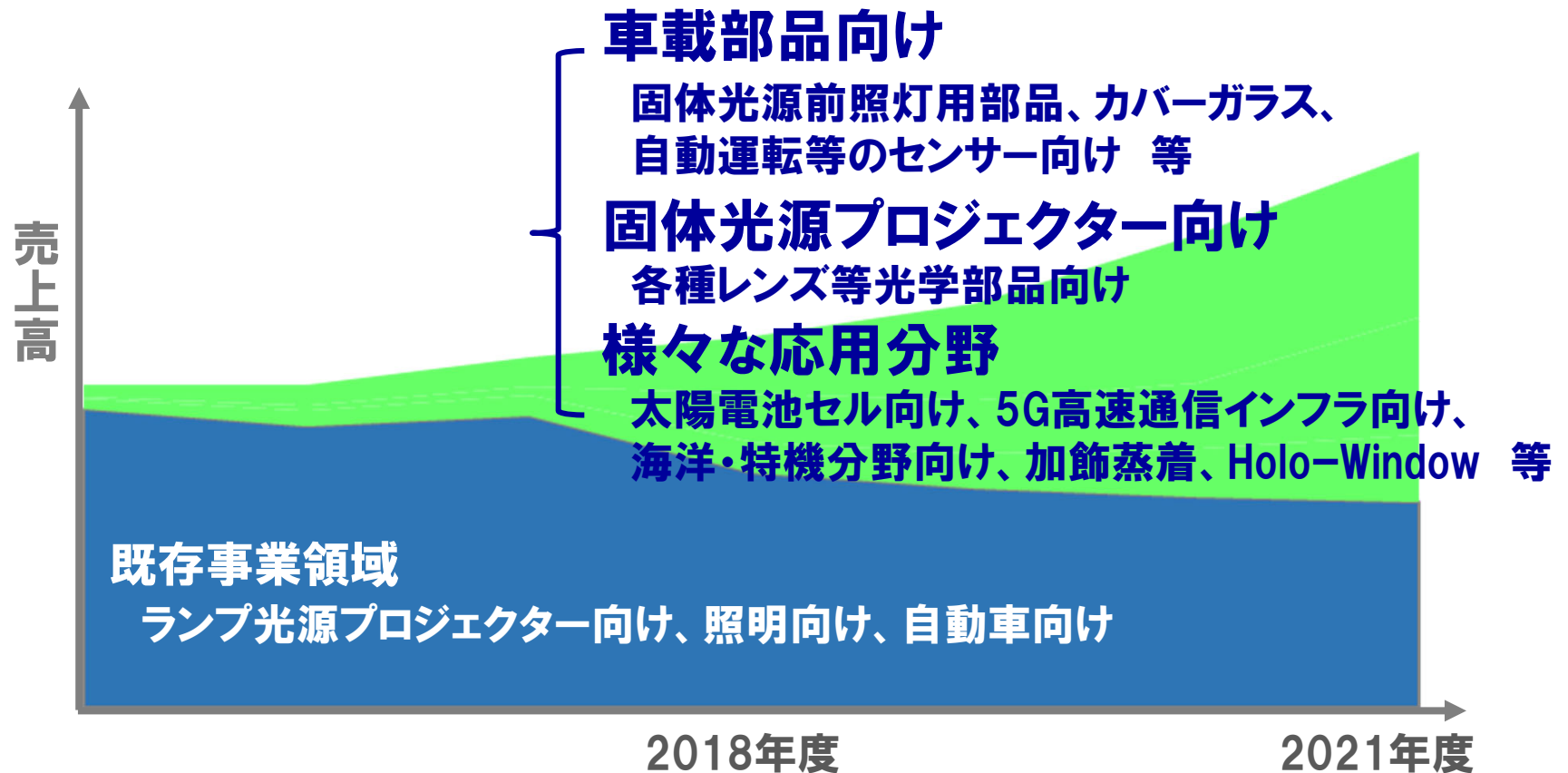
設備メーカーと仕様確定の最終段階



中期計画 取り組み

事業領域のシフト

新規事業領域



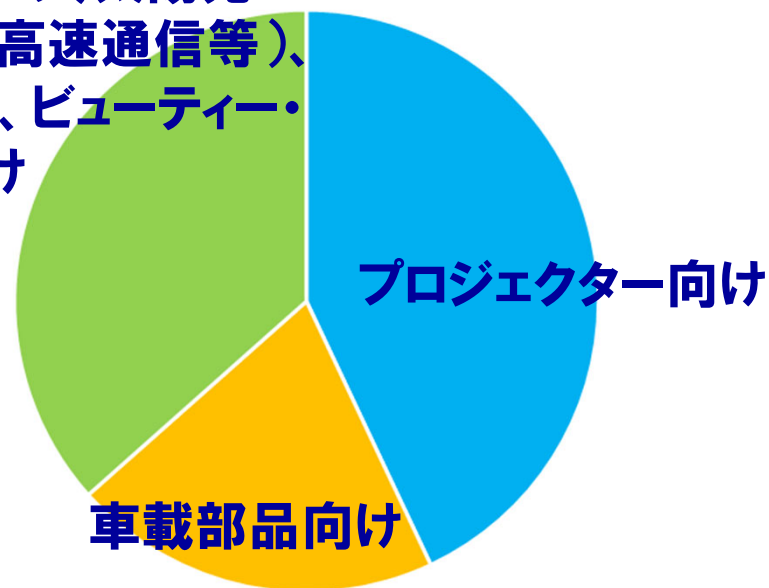
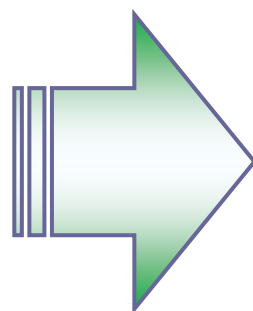
中期計画 取り組み

バランスの取れた事業構造の構築



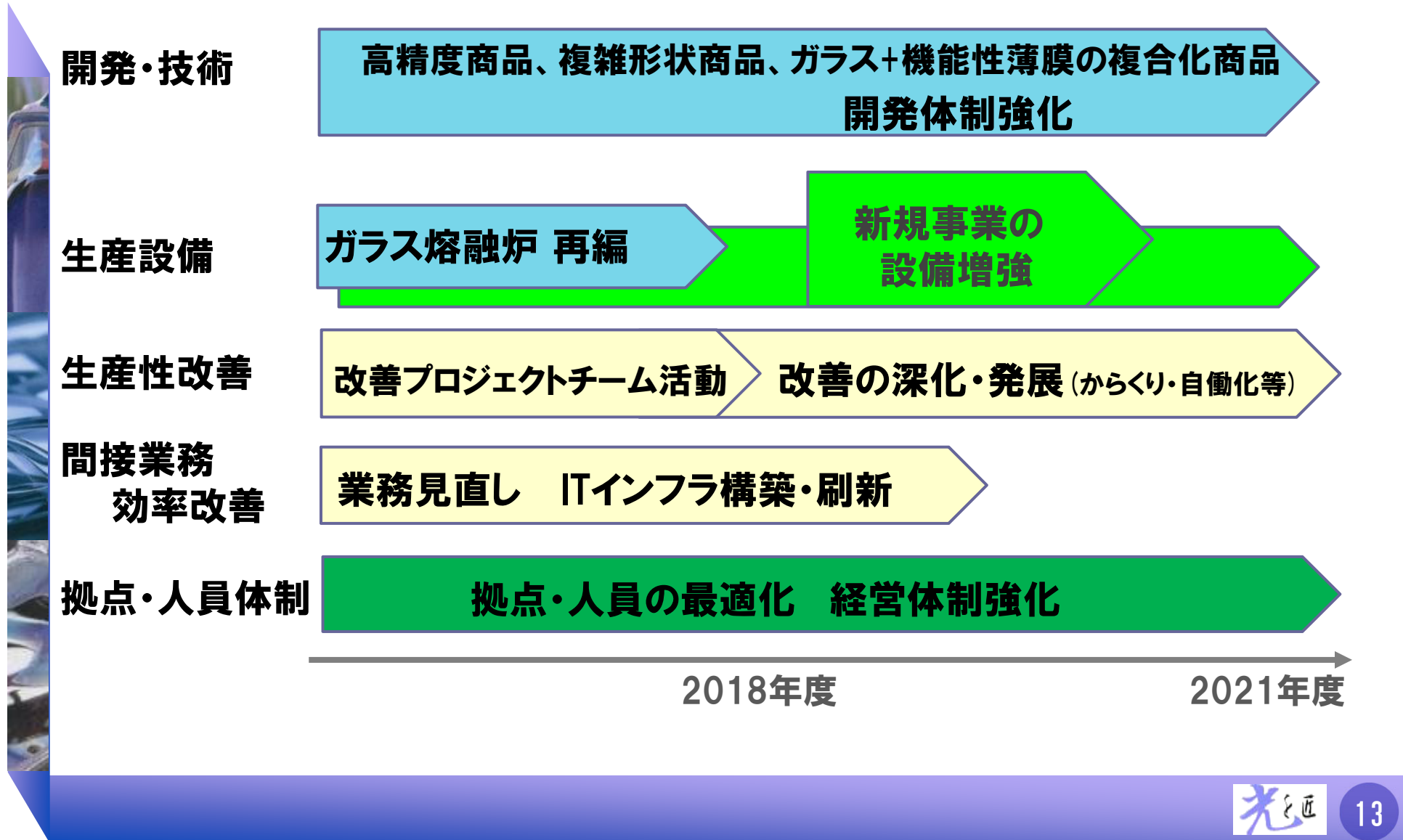
2018年度

社会インフラ(太陽光
発電、5G高速通信等)、
海洋事業、ビューティー・
医療、向け



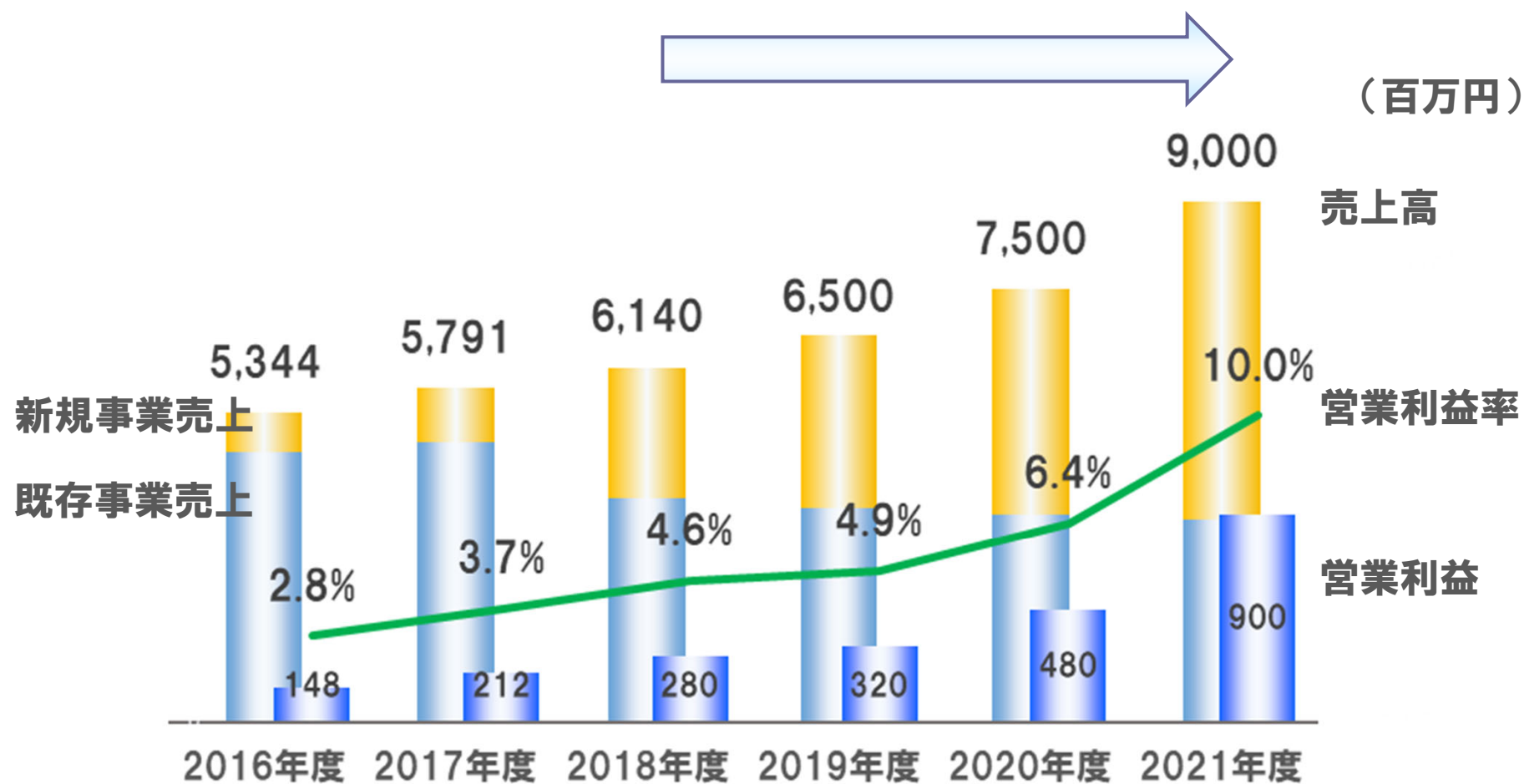
2021年度

中期計画 取り組み



中期計画 業績数値目標

売上高及び営業利益率の目標



本日はご出席いただきありがとうございました。

今後ともご指導とご鞭撻を賜りますよう

お願い申し上げます。

岡本硝子株式会社

(注)スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる可能性を含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。